

2026 年 6 月 25 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社  
(東証プライム / 証券コード：3762)

## 生成 AI と Understand の連携により、高精度な解析データを活かして開発を加速 ソースコード解析ツール「Understand」日本語版 7.2 の販売を開始

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢井隆晴、以下「テクマトリックス」）は、米国 Scientific Toolworks, Inc.（本社：米国ユタ州、最高経営責任者：Ken Nelson、以下「SciTools 社」）が開発したソフトウェア解析ツール「Understand 7.2」日本語版を、2026 年 6 月 25 日より販売を開始します。本バージョンでは生成 AI 連携に正式対応すると共に、VSCode 連携に特化した専用ライセンスがラインナップに加わりました。

### 生成 AI 連携機能と MCP 機能で正確な解析データをリアルタイム取得

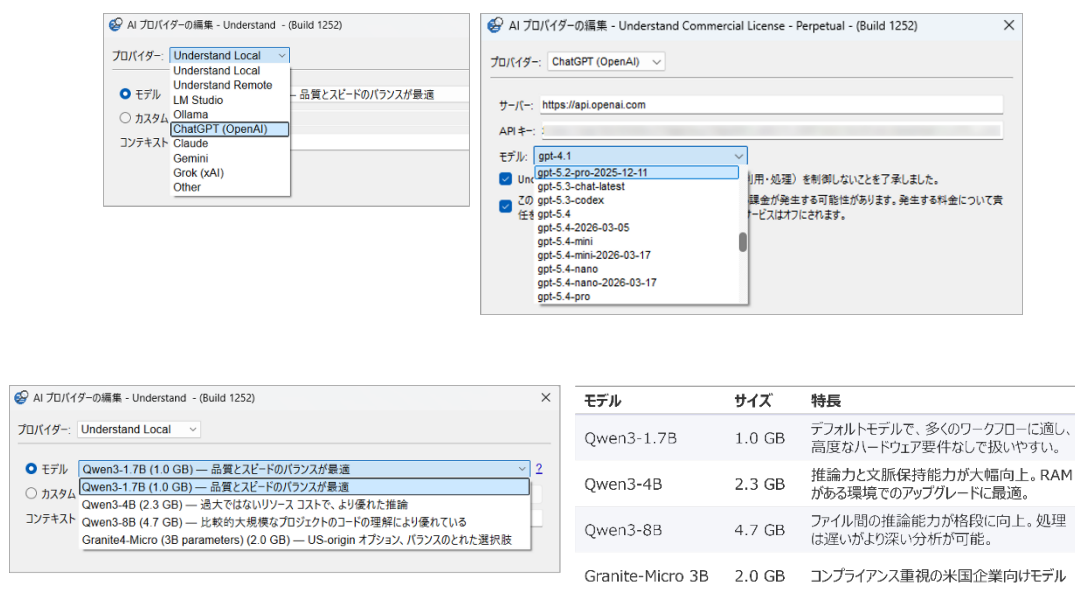
#### <生成 AI 連携機能の正式対応>\*1

Understand 7.2 では、生成 AI 連携機能に正式対応しました。選択可能な LLM モデルの追加・変更機能が強化され、AI サーバーへも接続可能となりました。HTTPS や API キーを用いたサードパーティ AI サービスとの連携や、GGUF ファイルの切り替え・ダウンロードにも対応し、ローカル AI プロバイダーのコンテキストウィンドウサイズ設定も新たに実装されました。

これらの機能により、Understand と直接連携して、ChatGPT や Gemini などさまざまな生成 AI を柔軟に活用できます。コード内の任意のエンティティやファイルについて、自動的に要約や概要を作成できるほか、AI チャット機能を利用して自然言語で対話形式に自由に質問することも可能です。

また、コードの修正やリファクタリング時にも活用でき、開発現場の解析効率と生産性向上を強力に支援します。

連携可能な生成 AI には Ollama、LM Studio、ChatGPT (OpenAI)、Claude、Gemini、Grok (xAI)、およびカスタム GGUF モデルファイルなど、さまざまな選択肢があります。

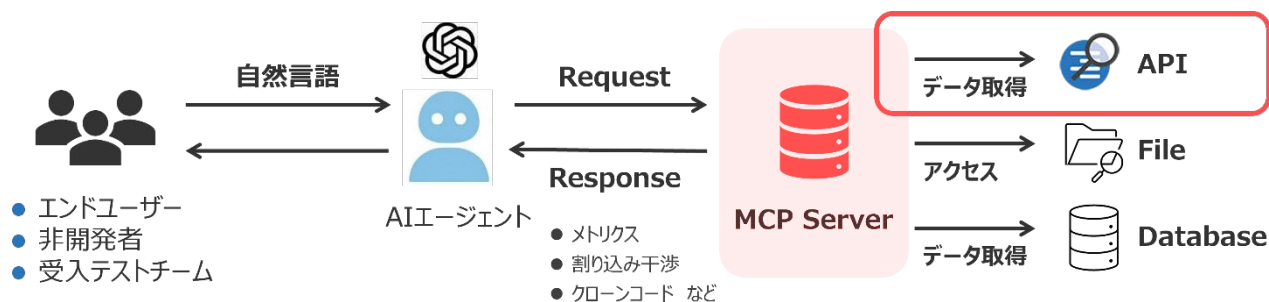


| モデル              | サイズ    | 特長                                          |
|------------------|--------|---------------------------------------------|
| Qwen3-1.7B       | 1.0 GB | デフォルトモデルで、多くのワークフローに適し、高度なハードウェア要件なしで扱いやすい。 |
| Qwen3-4B         | 2.3 GB | 推論力と文脈保持能力が大幅向上。RAM がある環境でのアップグレードに最適。      |
| Qwen3-8B         | 4.7 GB | ファイル間の推論能力が格段に向上。処理は遅いがより深い分析が可能。           |
| Granite-Micro 3B | 2.0 GB | コンプライアンス重視の米国企業向けモデル                        |

図: AI モデル・AI サーバーの選択画面

## &lt;MCP 機能の提供&gt;\*1

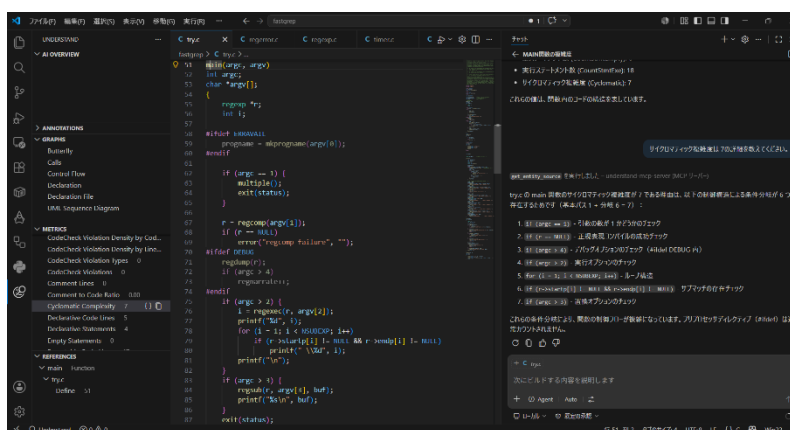
AI エージェントが Understand の API を直接呼び出して解析データを取得できる新機能として、AI エージェントをつなぐハブである MCP 機能の提供を開始しました。Understand の高い解析精度により、開発者は信頼性の高いデータを活用して効率的な開発を進めることができ、ソフトウェアの品質向上にもつながります。加えて、開発者は自然言語で Understand の解析結果に問い合わせが可能となり、AI が必要な情報を自動で判断・取得します。取得した情報をもとに説明文の作成や改善案の提案も自動で行うことで、開発プロセス全体の作業効率と品質向上に大きく貢献します。



Understand のデータベース（.und ファイル）を操作するための MCP 機能を提供する Python スクリプトが用意されており、Understand API を介して多様なコードやプロジェクト情報を取得可能です。

主な取得情報には、エンティティ情報（関数、クラス、ファイルの名前や種類等）、リファレンス情報（参照・被参照関係、依存関係）、解析結果（注釈、メトリクス）、字句解析情報、制御フローのノード情報、エンティティやリファレンスの種類リストなどが含まれます。

これにより、Understand は AI エージェントを通じて高精度な解析データを提供し、開発現場の生産性と品質向上を強力に支援します。



図：Visual Studio Code 上で MCP 連携をした画面

\*1: 生成 AI 連携機能には AI エージェントサービスや LLM プロバイダーの利用契約は含まれません。AI は役立つ正確な提案を提供することを目指していますが、AI が生成した回答は不正確または不完全な場合があります。また、生成 AI 連携機能の利用おきましては、AI の使用およびデータ取り扱いに関する組織のポリシーを必ず確認してください。本機能を通じて AI に送信されるデータは、ユーザーの判断と責任において取り扱われるものとし、機密情報や個人情報の送信には十分ご注意ください。

## Visual Studio Code (VSCode) 拡張機能の拡充と専用ライセンス\*2 販売開始

Understand 7.2 では、Microsoft 社が提供する無償コードエディター VSCode 向けの拡張機能を強化しました。VSCode 上で解析結果のグラフやメトリクスを直接表示可能としました。さらに、生成 AI 連携機能にも対応し、AI を活用したコード解析支援を実現。加えて、本リリースにて VSCode 拡張機能専用ライセンス\*2 の提供を開始し、より多くのユーザー様に手軽にご利用いただけるようになりました。

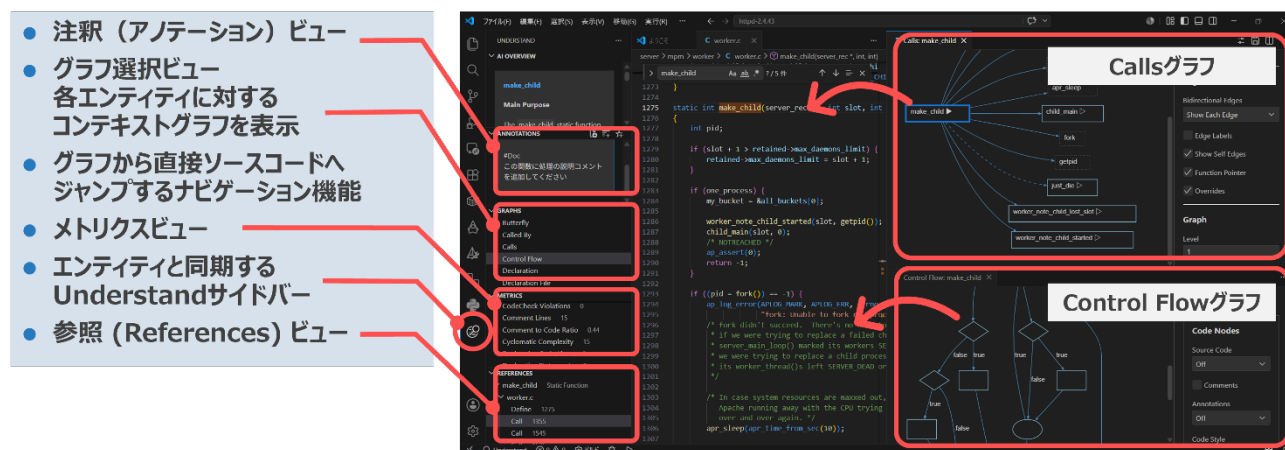


図: VSCode × Understand 連携イメージ

\*2 VSCode 拡張機能専用ライセンスの詳細については、本件のお問い合わせ先までご連絡ください。

### サポートプラットフォーム

Windows (64bit) : Windows 11 以降、Windows Server 2022 以降

Linux (64bit) : RHEL 9 以降、Ubuntu 24.04 以降

Mac OS : Monterey 12 以降

※その他環境の動作実績、生成 AI 連携機能利用時の推奨環境については、お問い合わせください。

### 解析対象言語

Ada、Assembly、C/C++、Objective-C/C++、C#、VB.NET、FORTRAN、Java、Pascal、Python、VHDL、Web (PHP、HTML、CSS、JavaScript、TypeScript)、Rust (ベータ版)

※C/C++、Objective-C/C++、C#、VB.NET、Java、Python、Web がテクニカルサポートの対象です。

製品の詳細につきましては Web ページをご確認ください。

URL : <https://www.techmatrix.co.jp/product/understand/>

### 販売開始日

2026 年 6 月 25 日

### 出荷開始予定日

2026 年 6 月 25 日

2026 年 6 月 25 日において、保守サービスをご契約いただいている Understand ユーザー様には、「Understand 7.2」バージョンアップ製品を無償でご提供します。

## ■ テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス（東証プライム：3762）は、お客様のニーズに沿った最適な IT インフラと IT ライフサイクルをワンストップで提供する「情報基盤事業」、蓄積された業務ノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」、**“医療情報をみんなの手に。そして、未来へ。”**をテーマに健康な社会を支える医療情報インフラの構築に取り組む「医療システム事業」の3事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。

詳細は Web サイト：<https://www.techmatrix.co.jp/> をご参照ください。

## ■ Scientific Toolworks, Inc.について

SciTools 社は、アプリケーションライフサイクル全般において、低リスクで高品質なソフトウェアの開発をサポートするソフトウェア設計管理ソリューションプロバイダーです。Understand は、大規模なプロジェクトやレガシーコードの構造をグラフィカルに可視化することで、ソースコードの保守、リファクタリング、リバースエンジニアリングといった作業の効率化に貢献し、クロスプラットフォーム対応や多言語サポートにより、幅広い分野のソフトウェアエンジニアから支持されています。

また、Understand を使用している世界中の何千人ものソフトウェア開発者やエンジニアからのフィードバックを実装することで製品を継続的に強化しています。

詳細は Web サイト：<https://www.scitools.com> をご参照ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

テクマトリックス株式会社

ソフトウェアエンジニアリング事業部 Understand 担当

E-mail：[scitools-info@techmatrix.co.jp](mailto:scitools-info@techmatrix.co.jp)

TEL：03-4405-7853

\*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。